

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2026年3月11日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

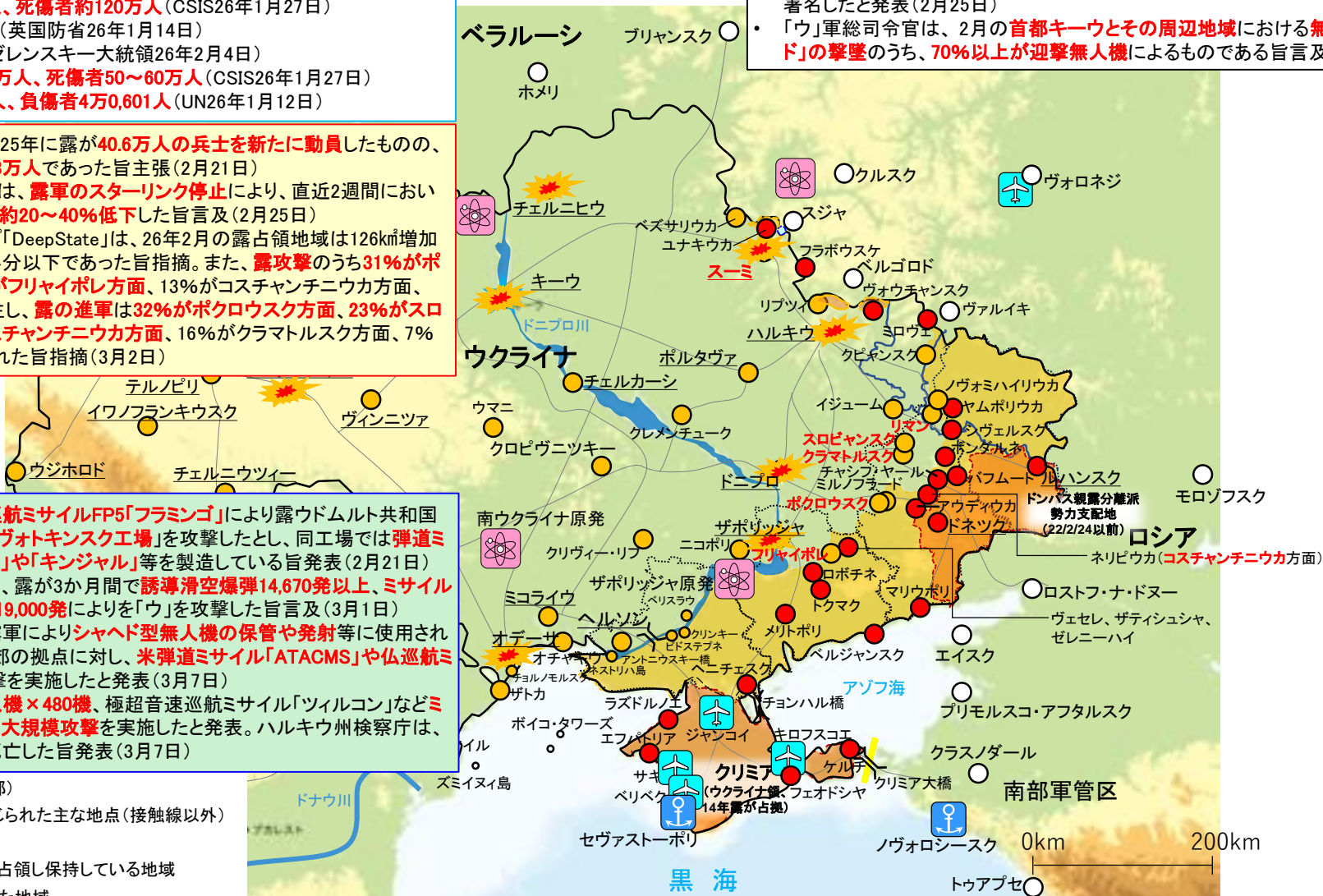
- 露軍: 死者約19.8万人(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
 - : 死者27.5~32.5万人、死傷者約120万人(CSIS26年1月27日)
 - : 死傷者約121.3万人(英国防省26年1月14日)
- 「ウ」軍: 死者約5.5万人(ゼレンスキー大統領26年2月4日)
 - : 死者最大10~14万人、死傷者50~60万人(CSIS26年1月27日)
- 「ウ」市民: 死者1万4,999人、負傷者4万0,601人(UN26年1月12日)

- 「ウ」軍総司令官は、2025年に露が**40.6万人の兵士を新たに動員したものの、同年の死傷者が約41.8万人**であった旨主張(2月21日)
- 「ウ」軍第3軍団司令官は、**露軍のスターリンク停止**により、直近2週間において、露攻撃の有効性が**約20~40%低下**した旨言及(2月25日)
- 「ウ」戦況分析グループ「DeepState」は、26年2月の露占領地域は126km²増加し、これは26年1月の半分以下であった旨指摘。また、**露攻撃のうち31%がポクロウスク方面、21%がフライボレ方面**、13%がコスチャンチニウカ方面、7%がリマン方面で発生し、**露の進軍は32%がポクロウスク方面、23%がスロヴァンスク、21%がコスチャンチニウカ方面**、16%がクラマトルスク方面、7%がスーミ方面で確認された旨指摘(3月2日)

- 「ウ」軍参謀本部は、**巡航ミサイルFP5「フラミンゴ」**により露ウドムルト共和国にある軍事産業企業**「ヴァトキンスク工場」**を攻撃したとし、同工場では**弾道ミサイル「イスカデルム」**や**「キンジャル」**等を製造している旨発表(2月21日)
- ゼレンスキー大統領は、露が3か月間で**誘導滑空爆弾14,670発以上**、**ミサイル738発**、**攻撃無人機約19,000発**により「ウ」を攻撃した旨言及(3月1日)
- 「ウ」軍参謀本部は、露軍により**シャヘド型無人機の保管や発射**等に使用されているドネツク空港近郊の拠点に対し、**米弾道ミサイル「ATACMS」**や**仏巡航ミサイル「SCALP」**で攻撃を実施したと発表(3月7日)
- 「ウ」空軍は、露が**無人機×480機**、**極超音速巡航ミサイル「ツィルコン」**など**ミサイル×29発**から成る**大規模攻撃**を実施したと発表。ハルキウ州検察庁は、同攻撃により**11人が死亡**した旨発表(3月7日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域

- 「ウ」国防省は、「ウ」政府が立ち上げた防衛技術クラスター**「Brave 1」**と**仏防衛イノベーション庁**が**防衛企業向けの共同助成金プログラム設立に関する意向書**に署名したと発表(2月25日)
- 「ウ」軍総司令官は、2月の**首都キーウとその周辺地域**における**無人機「シャヘド」**の撃墜のうち、**70%以上が迎撃無人機**によるものである旨言及(3月3日)



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等